

杉並らしい、未来のまちの姿を考える。



サバイバルキャンプ杉並 2018

防災とまちづくり

地域でつくる防災の試みとその可能性

2019年11月30日(土)

14:00~17:00 開場: 13:30

細田工務店 2階会議室 定員: 50名

参加費: 500円 懇親会費: 1000円

パネリスト: 古屋 進 (杉並区大宮二丁目自治会会長)

鈴木 進 (住まい・まちづくり研究室 主宰)

山田 清 (人イエまちネットワーク 主宰)

コーディネーター: 松枝廣太郎 (杉並建築会 代表)

過去のまちづくりの事例や現在進行中の事例を参考に、幅広く意見交換を行い、今後のまちづくりに活かせる手法を皆さんと共に探ります。

公共施設の建築やまちづくりにおけるプロセスの重要性については、すでに知られていることですが、その具体的な方法については、かならずしも確立されているとはいえ、合意形成が難しく、成功していると言えない場合も多いようです。

しかしながら、より良いまちになってほしいとの願いは、どんな立場の人たちにとっても共通のものであるはず。私たちは、「プロセス」を重視しながら、じっくりと時間をかけて、関係者全員が「よかった」と思える、住宅都市・杉並らしいまちづくりの進め方を考えていきたいと思えます。

「防災ネットワーク」の大切さを探る



防災への機運が日々高まるなか、行政、専門家に加えて市民も交えての防災への対応が求められています。杉並区ではすでに各地域で様々な防災活動が行われています。自治会が中心となった活動。消防団の活動。教育機関での活動。そんな一様ではない防災活動の全体を見直し、改めて地域で何ができるのか、地域をつなぐ杉並区全体の防災ネットワークの構築は可能なのかを問いかけます。さらに行政の防災対応の現状、杉並区の自然地勢・都市構造を再確認し、これからの防災を考えます。地域でつくる防災活動は新しいコミュニティの生成でもあります。

2019 年度

第1回 6/22 「住宅都市・杉並のまちづくり」(終了)

第2回 9/7 「杉並にみるさまざまなまち」(終了)

第3回 11/30 「防災とまちづくり」

第4回 2/8 「市民と考えるまちづくり(仮)」

パネリスト

古屋 進 (ふるや すずむ)

1970年東海大学工学部応用理学科卒業後、医療機器メーカー勤務を経て画像診断の開発を専門とする。現在は駒澤大学医療健康科学研究所上級客員研究員。地元では杉並区大宮二丁目の自治会にて2018年より会長として地域の防災活動やコミュニティづくりをリードしている。災害医療ネットワーク構築にも従事。

鈴木 進 (すずき すずむ)

1947年千葉県館山市生まれ。東北大学工学部建築学科卒業後、千葉県庁入庁。建築指導課長、営繕課長等を歴任。その後千葉県耐震判定協議会専務理事、和洋女子大学非常勤講師を経て、現在一級建築士事務所「住まい・まちづくり研究室」主宰、町内会での防災会活動など。

山田 清 (やまだ きよし)

1974年法政大学工学部建築学科卒。1999年人・イエ・まちネットワーク設立。2000年(有)人イエまちネットワークに改組。以降、建築設計のほか各種まちづくりに取り組んでいる。

コーディネーター

松枝 廣太郎 (まつえだこうたろう)

1964年東京工業大学理工学部建築学科修士課程修了。

(株)アール・アイ・エー入社後、1984年よりフリーコンサルタント。その後、(社)再開発コーディネーター協会事務局、(株)住信基礎研究所を経て、1994年より(株)松枝建築計画研究所主宰。

〈申し込み方法〉

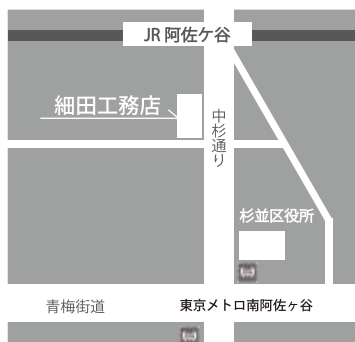
参加ご希望の方は件名を「杉並建築会第7回大会・JIA 杉並土曜学校申込」とし、お名前、所属、人数、メールアドレス、当日連絡の取れる連絡先、お住いの地域(杉並区など)を明記の上、メールまたはファックスでお申し込みください。

〈申し込み先・問合せ先〉

杉並建築会第7回大会・JIA 杉並土曜学校担当 タジェール内 中村雅子

tel 03-5305-2773 fax 03-5305-2774

e-mail suginami@jia-kanto.org



細田工務店

JR 中央線 阿佐ヶ谷駅より徒歩 3 分
東京メトロ丸ノ内線
南阿佐ヶ谷駅より徒歩 6 分

杉並区阿佐谷南 3-35-21

tel : 0800-170-7700 (フリーコール)